平成25年３月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成24年10月29日

上場会社名　　旭精機工業株式会社　　上場取引所　名
コード番号　　6111　　ＵＲＬ　http://www.asahiseiki-mfg.co.jp/
代表者　　（役職名）取締役社長　　（氏名）山口　央
問合せ先責任者　（役職名）常務取締役　　（氏名）神戸　昌之　　ＴＥＬ　0561-52-5300

四半期報告書提出予定日　　平成24年11月14日　　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無：　無
四半期決算説明会開催の有無　　：　無

（百万円未満切捨て）

１．平成25年３月期第２四半期の業績（平成24年４月１日～平成24年９月30日）

（１）経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年３月期第２四半期	5,272	△0.9	162	176.0	188	115.1	93	116.4
24年３月期第２四半期	5,322	△6.5	58	△81.5	87	△73.3	43	△68.8

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年３月期第２四半期	3.29	－
24年３月期第２四半期	1.52	－

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年３月期第２四半期	16,753	11,096	66.2
24年３月期	16,354	11,313	69.1

（参考）自己資本　　25年３月期第２四半期　　11,096百万円　　24年３月期　　11,313百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年３月期	－	－	－	5.50	5.50
25年３月期	－	－			
25年３月期（予想）			－	5.50	5.50

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．平成25年３月期の業績予想（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,300	△0.9	350	302.2	390	182.6	210	－	7.37

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無

※　注記事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　有

（注）詳細は、添付資料Ｐ．３「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　有

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　有

④　修正再表示　　：　無

（注）「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」第５条の４に該当するものであります。詳細は、添付資料Ｐ．３「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年３月期２Ｑ	30,887,396株	24年３月期	30,887,396株
②　期末自己株式数	25年３月期２Ｑ	2,427,273株	24年３月期	2,426,386株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年３月期２Ｑ	28,460,395株	24年３月期２Ｑ	28,462,509株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了しておりません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は国内外の経済情勢並びに予期できない資源高騰等の様々な要因により異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
（３）追加情報 …… 3
３．四半期財務諸表 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書 …… 6
（３）四半期キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当第２四半期累計期間におけるわが国経済は、個人消費や復興需要を背景として持ち直しの動きもみられたものの、世界景気の減速や円高の長期化などの影響を受け、依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のもと当社は、積極的な営業活動、一層の生産性の向上、更なるコスト削減の徹底などに注力し、業績の向上に努めてまいりました結果、売上高は52億７千２百万円と前年同期比0.9%の減少となりましたが、利益面につきましては、営業利益は１億６千２百万円と前年同期比176.0%の増加、経常利益は１億８千８百万円と前年同期比115.1%の増加、四半期純利益は９千３百万円と前年同期比116.4%の増加となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

［精密加工事業部］

精密加工事業部における当第２四半期累計期間の売上高は、31億４千９百万円と前年同期比17.3%の減少となり、その内容は以下のとおりです。

「精密金属加工品」は、自動車関連向けは順調に推移しましたが、主力の水晶振動子用ケースが減少したことにより、16億９千９百万円と前年同期比14.8%の減少となりました。「小口径銃弾」は、14億５千万円と前年同期比20.1%の減少となりました。

［機械事業部］

機械事業部における当第２四半期累計期間の売上高は、21億２千３百万円と前年同期比40.5%の増加となり、その内容は以下のとおりです。

「プレス機械」は、電池ケース加工用プレスの受注の増加や、自動車関連向けを中心に順調に推移したことから、８億９千５百万円と前年同期比20.4%の増加となりました。「航空機部品」は、旅客機用部品の受注増から、５億１千６百万円と前年同期比30.7%の増加となりました。「自動機・専用機」は、自動車関連向けの設備投資が増加したことから、３億９千２百万円と前年同期比859.8%の増加となりました。「ばね機械」は、自動車関連向けの受注が順調に推移したことから、２億８千１百万円と前年同期比21.8%の増加となりました。

（２）財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第２四半期末の総資産は、前期末より３億９千８百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が２億８百万円減少したものの、たな卸資産が４億６千７百万円及び売上債権が１億５千１百万円増加したことによるものです。負債につきましては６億１千５百万円の増加となりました。これは主に、流動負債のその他に含まれる設備関係支払手形が２億５千９百万円及び退職給付引当金が１億９千７百万円増加したことによるものです。純資産につきましては２億１千６百万円の減少となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が１億５千４百万円減少したことによるものです。

②キャッシュフローの状況

当第２四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は44億１千４百万円となり、前期末より２億８百万円減少しました。

各キャッシュフローの状況は以下のとおりとなっております。

（営業活動によるキャッシュフロー）

営業活動による資金の減少は５千２百万円となりました。これは主に、減価償却費で３億１千１百万円計上したこと及び退職給付引当金が１億９千７百万円増加したものの、たな卸資産が４億６千７百万円及び売上債権が１億５千１百万円増加したことによるものです。

（投資活動によるキャッシュフロー）

投資活動による資金の増加は４百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得で１億４千１百万円支出したものの、有形固定資産の売却により１億５千万円の収入があったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュフロー）

財務活動による資金の減少は１億６千万円となりました。これは主に、配当金の支払で１億５千５百万円支出したことによるものです。

（３）業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成24年４月26日の「平成24年３月期　決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第２四半期会計期間を含む会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による損益への影響は軽微であります。

（３）追加情報

（退職給付引当金）

当社は現行の退職給付制度の一部について、平成24年10月１日より確定拠出年金制度へ移行することに伴い、「退職給付制度間の移行等に関する会計処理」（企業会計基準適用指針第１号）を適用しております。

本移行に伴う影響額は、当第２四半期累計期間の特別損失（退職給付制度改定損）として144,944千円を計上しております。

３．四半期財務諸表

（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,122,632	4,914,130
受取手形及び売掛金	3,050,957	3,202,221
製品	148,543	246,246
仕掛品	1,223,992	1,600,480
原材料及び貯蔵品	592,036	585,344
その他	136,006	122,956
貸倒引当金	△16,000	△12,500
流動資産合計	10,258,168	10,658,879
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,677,305	1,615,804
機械及び装置（純額）	1,569,528	1,433,175
その他（純額）	785,508	1,139,636
有形固定資産合計	4,032,343	4,188,616
無形固定資産	70,358	68,273
投資その他の資産		
投資有価証券	1,345,822	1,113,570
その他	651,772	726,988
貸倒引当金	△3,525	△2,938
投資その他の資産合計	1,994,069	1,837,620
固定資産合計	6,096,770	6,094,510
資産合計	16,354,939	16,753,389

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年３月31日)	当第２四半期会計期間 (平成24年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,002,498	2,118,772
短期借入金	900,000	900,000
未払法人税等	54,015	85,560
賞与引当金	186,960	199,052
その他	491,711	770,096
流動負債合計	3,635,185	4,073,482
固定負債		
退職給付引当金	1,194,852	1,391,994
役員退職慰労引当金	186,884	171,143
その他	24,514	20,147
固定負債合計	1,406,251	1,583,285
負債合計	5,041,436	5,656,768
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,175,416	4,175,416
資本剰余金	3,468,202	3,468,202
利益剰余金	3,653,372	3,590,719
自己株式	△339,721	△339,850
株主資本合計	10,957,269	10,894,488
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	356,233	202,133
評価・換算差額等合計	356,233	202,133
純資産合計	11,313,503	11,096,621
負債純資産合計	16,354,939	16,753,389

（２）四半期損益計算書
（第２四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
売上高	5,322,496	5,272,676
売上原価	4,600,769	4,484,414
売上総利益	721,727	788,261
販売費及び一般管理費	662,980	626,072
営業利益	58,746	162,189
営業外収益		
受取利息	247	383
受取配当金	13,250	14,277
固定資産賃貸料	22,381	19,027
その他	10,605	6,184
営業外収益合計	46,485	39,873
営業外費用		
支払利息	4,091	3,068
固定資産賃貸費用	12,940	9,639
その他	518	734
営業外費用合計	17,550	13,442
経常利益	87,681	188,620
特別利益		
固定資産売却益	－	131,146
投資有価証券売却益	1,907	－
特別利益合計	1,907	131,146
特別損失		
固定資産売却損	422	－
固定資産除却損	3,340	3,354
投資有価証券評価損	2,170	4,594
退職給付制度改定損	－	144,944
特別損失合計	5,932	152,894
税引前四半期純利益	83,656	166,872
法人税等	40,290	72,990
四半期純利益	43,366	93,882

（３）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	83,656	166,872
減価償却費	386,541	311,269
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△3,774	△4,087
賞与引当金の増減額（△は減少）	10,310	12,092
退職給付引当金の増減額（△は減少）	45,041	197,142
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	23,436	△15,740
受取利息及び受取配当金	△13,498	△14,660
支払利息	4,091	3,068
有形固定資産売却損益（△は益）	422	△131,146
有形固定資産除却損	3,340	3,354
売上債権の増減額（△は増加）	499,619	△151,264
たな卸資産の増減額（△は増加）	△295,433	△467,498
仕入債務の増減額（△は減少）	△2,496	114,966
その他	△70,342	△46,540
小計	670,913	△22,172
利息及び配当金の受取額	13,498	14,660
利息の支払額	△4,091	△3,051
法人税等の支払額	△129,004	△42,405
営業活動によるキャッシュ・フロー	551,316	△52,968
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△256,784	△141,462
有形固定資産の売却による収入	425	150,125
無形固定資産の取得による支出	△3,630	△1,339
投資有価証券の取得による支出	△2,388	△2,536
投資有価証券の売却による収入	11,587	－
定期預金の預入による支出	△500,000	－
その他	293	△278
投資活動によるキャッシュ・フロー	△750,497	4,509
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△300,000	－
自己株式の取得による支出	△303	△128
配当金の支払額	△155,641	△155,719
その他	△2,775	△4,158
財務活動によるキャッシュ・フロー	△458,721	△160,006
現金及び現金同等物に係る換算差額	3	△36
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△657,898	△208,502
現金及び現金同等物の期首残高	5,001,136	4,622,632
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,343,237	4,414,130

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。